

障害者週間

12月3日～9日は

障害者週間は、障害のある方の福祉についての関心と理解を深めるために「障害者基本法」で定められています。誰もが人格と個性を尊重し、支え合う「共に生きる社会」に向けた環境づくりをしていきましょう。

問合せ 障害福祉課障害福祉係☎172

地域の理解とともに。生きる力を育てる「東京都立羽村特別支援学校」

羽村市五ノ神319-1
☎554-0829

東京都立羽村特別支援学校は、知的障害特別支援学校です。児童・生徒は現在466人。今年開校50周年を迎えました。日頃から、地域とのさまざまな交流を積極的に図っています。ヒノトントンZOOの動物の餌を量って袋詰めしたり、エントランスの清掃をしたり。羽村団地の花いっぱい運動などにも協力しました。中学部主任の遠藤洋子先生に話を伺いました。



▲遠藤 洋子さん

子どもたちがより良く生きていくために、地域の理解が必要と遠藤先生は言います。「学校や子どもたちの様子を実際に見ると、良い理解者になってくれる方が多いです。この子たちが社会に出たとき、特別な目で見られるのではなく、地域の一員として扱ってもらうために、学校としてできることを模索しています」

コロナ禍で休止していた学校公開や文化祭に地域の方を招待したり、隣の松林小学校と合同で事業を行ったりも、そろ

東京都立羽村特別支援学校



校長 外山 裕介さん

わが校は、ほかの特別支援学校よりも歴史が長く、重度・重複障害の子も受け入れながら、特別支援教育を手探りで研究してきたという土壌があります。先生方のプロ意識も高いです。

子どもたちに対しては、障害のある子の人権に配慮した環境を作っていきたいと考えています。合っているか間違っているかだけを指導するのではなく、一緒に考え、間違っても受け止めて良い、安心できる人間関係の中で生活できるようにしたいと思っています。

子どもたちがより良く生きていくために、地域の理解が必要と遠藤先生は言います。「学校や子どもたちの様子を実際に見ると、良い理解者になってくれる方が多いです。この子たちが社会に出たとき、特別な目で見られるのではなく、地域の一員として扱ってもらうために、学校としてできることを模索しています」



▲武藤 快さん
今年度の前期生徒会長。サッカー部に所属しています。好きな教科は理科だそうです。

そろ再開できそうです。校内でフットサルをしていた高等部3年生の武藤 快さんは、学校が好きだと話してくれました。「友達と話したり部活したりして楽しいし、先生も明るくて勉強も面白いです」これから子どもたちは、江戸街道公園（にっぽんパーク）に設置するインクルーシブ遊具のモニターにも挑戦します。遊具を実際に使って、感想や希望などを市や事業者に伝えるのです。「自分で考えてそれを表明することは、子どもたちが『自分らしく生きる力』を鍛える良い機会。『自分がこうなりたい』という将来に向かって、自分で生き方を決めていけるように、これからは工夫しながら支援していきたいです」と遠藤先生。障害の有無などに関わらず、誰もが互いのあるまま認め受け入れるインクルーシブ社会への入り口が見えるような気がしました。

「存じですか」障害者差別解消法

……問合せ 障害福祉課障害者支援係☎185

国や市町村などの行政機関、会社、お店などの民間事業者は、障害を理由とする「不当な差別的取扱」をしないことや、「合理的な配慮の提供」をすることが規定されています。

- 「つはいけない」「不当な差別的取扱」
 - 正当な理由なく、障害を理由として、サービスの提供を拒否するなど、障害のない人と異なる対応をすることです。
 - × 障害を理由に入店や施設の利用を断る。
 - × 障害者向けの物件はないと言って対応しない。

■「つはいけない」「合理的配慮の提供」
 障害のある人から何らかの配慮を求めた意思表示があった場合に、負担になりすぎない範囲で対応をすることです。

- 筆談や読み上げなど、伝える方法を工夫する。
 - 段差がある場合に、キャスター上げやスロープの利用などの補助を行う。
- 配慮が必要だということが外見からはわかりづらい障害もあります。また、けがや病気により体が不自由になるリスクは誰にでもあります。障害があってもなくても安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指しましょう。

障害者週間展示とハンディキャップサービス

……問合せ プリモライブラリーはむら☎554-2280

■障害者週間展示

障害について理解が深まる図書や、活字による読書が困難な方のための資料を展示します。

期間 12月1日(金)～14日(木)

会場 プリモライブラリーはむら

■ハンディキャップサービス

視覚障害などで活字による読書が困難な方や、高齢または身体的理由で図書館に来館す

- ◆ 点字図書・大活字本・朗読CDの貸出し(利用者カードがあればどなたでも借りられます)
 - ◆ 録音図書(DAISY版図書)の貸出し
 - ◆ 対面朗読サービス
 - ◆ 宅配サービス
- ることが困難な方に、次のサービスを行っています。利用登録が必要なサービスもあります。詳しくは問い合わせください。



※インクルーシブな遊び場：障害の有無、年齢、性別などに関係なく、みんなで手を取り合いながら遊べる環境です。遊びを通じて自分の能力を伸ばし、助け合い、関わり合う機会を提供することを目的としています。

問合せ 公園について…土木課☎282
ネーミングライツについて…財政課☎320

インクルーシブ遊具でネーミングライツ 12月1日から、江戸街道公園の愛称が 「にっぽんパーク」になります

■ネーミングライツ事業

江戸街道公園のネーミングライツ・パートナーに、日都産業株式会社(株)の応募があり、江戸街道公園の愛称が「にっぽんパーク」に決定しました。12月1日からこの愛称を使用します(すでに発行している印刷物などは従前の表記のままですが、今後新たに発行するものについては、原則、愛称を使用します)。

※愛称は、一般的な呼称として用いるもので、条例などに規定している正式な施設名称を変更するものではありません。

※インクルーシブな遊び場※づくりに向けた遊具体験会やワークショップも行う予定です。

【命名権者】日都産業株式会社(公園遊具製造業)
【契約期間】令和5年12月1日から5年間
【ネーミングライツの対価】インクルーシブ遊具3基、案内板2基の設置(総額795万7400円相当)